



福島県の子どもたちが保養キャンプを開催	…02—03
平成21年台風第9号災害 佐用町追悼式	…05
水害復興ステージ「しあわせ運べるように」	…06—07
FLASH NEWS (まちの話題)	…10—11
佐用町南光ひまわり祭り	…24

誇りをつなぐ舞

8月14日、4年に一度の平松武者踊りが行われ、踊り子たちが集落の誇りを胸に力強く舞いました（関連記事12頁）。



2012
9
No.84



思い出がいっぱい 佐用町で過ごした 夏

福島第1原発事故による放射能の影響が懸念され、屋外での遊びを制限されている福島県の子どもたちが、7月30日から5日間、南光自然観察村で保養キャンプを行いました。参加者たちは、昆虫館周辺で虫を捕ったり、三河小学校の児童たちと交流を深めたりして、佐用町での楽しい夏の思い出をたくさん作りました。



三河小学校との交流会では、児童たちが考えた8種類の手作りのゲームで楽しみました



商工会青年部と佐用ホルモンうどんくわせ隊の炊き出しの様子

福島から31人が佐用町へ

このキャンプは、放射能の影響を避け、福島県内の子どもたちに夏休みを利用して県外で過ごしてもらおうと、「福島の子どもを招きたい！明石プロジェクト」（明石市）が主催しました。

この取り組みは昨年に引き続き2回目。福島市やいわき市など福島県内の幼児や小学生31人が参加しました。

今回は、明石市内で2週間滞在できる施設が確保できず、同プロジェクトが町に相談。7月30日から5日間、南光自然観察村に滞在し、佐用マリア幼稚園で学童保育の子どもたちと交流したり、西はりま天文台で星の観察をしたりして、放射能を気にしないひとときを過ごしました。

交流を通じて絆を強く

8月1日には、三河小学校の児童との交流会が行われました。児童、先生や地域住民約100人が参加。歓迎式で勝山教育長が「この出会いを大切にして、心の絆を強く

んでほしい」とあいさつ。その後、児童たちによる手作りのゲームを楽しみながら交流を深めました。

閉会では、児童たちがひまわりの種が入った袋を一人ひとりに手渡しました。6年生の堂本剛秀くん（漆野）は「福島で大輪の花を咲かせて、僕たちのことを思い出してほしい」と参加者に呼びかけました。

また、午後からは町昆虫館に移動。近くの子どもたちと館周辺に生息する虫に触れたり、周辺の山に入ってセミやバッタなどを捕ったりして、佐用の自然を満喫しました。

自慢の味で支援の恩返し

8月2日には、キャンプ期間中、同村で自炊して過ごす参加者たちに町の名物料理などを味わってもらおうと炊き出しを実施。商工会青年部によるしかコロッケ入りカレーや、佐用ホルモンうどんくわせ隊によるホルモン焼きうどん

んなどが振る舞われました。同部長の久森昌良さん（湯小）は「放射能の影響で食べ物にも気を使っていると聞いた。子どもたちがおいしそうに食べる顔を見てよかったです。3年前の支援の恩返しになれば」と話していました。

佐用町の皆さん、ありがとう

「放射能の恐怖を感じながら暮らす子どもたちにとって、キャンプは少しでも気持ちを和らげることに繋がっている」と同プロジェクト代表の小野洋さんは話します。

震災以後、放射能を気にして購入水のみを使用している佐藤満寿子さん（福島市）は「放射能の影響で、外で一時間しか遊べない子どもたちが元気にはしゃぐ姿が印象的。支援してくれた佐用町の皆さんには感謝の気持ちでいっぱい」と話し、小学3年生の佐藤大河くん（福島市）は「また自然豊かな佐用町で遊びたい」と笑顔を見せていました。



「何が捕れたかな」。昆虫館周辺での虫捕りでは、子どもたちがさんさんと降りそそぐ日ざしを体いっぱい浴びながら、NPO法人「こどもとむしの会」スタッフや近くの子どもたちと一緒に元気に虫を追いかけました



平成21年台風第9号災害 佐用町追悼式



平成21年
台風第9号災害
佐用町追悼式

参列者全員で献花を行いました



佐用町の
水害を忘れない
防災訓練

平福中町集会所から利神小学校へ避難誘導訓練を行う参加者

あの日を忘れず 地域防災力を向上

7月29日、利神小学校区周辺の7集落を対象に「佐用町の水害を忘れない」防災訓練が行われ、地域住民や地元消防団など約300人が参加しました。

水害を風化させず、災害の経験を生かすため、平成22年から町内の各地域で行われています。防災訓練では、消防署や県消防防災航空隊、警察署、自治会、消防団が連携して、水害発生時の初期期の避難行動やその手順などを確認しました。

8時30分、佐用川の水位が上昇したという想定で避難勧告が発令。地域

住民の皆さんが一時避難所の集会所にそれぞれ集合して安否確認。その後、ロープにつかまりながら消防団の誘導で指定避難所の利神小学校へ避難しました。

同校では、参加者の皆さんが1時間雨量50ミリの豪雨を疑似体験したほか、孤立集落を想定した防災ヘリ訓練などが行われました。

町消防団団長の松田芳夫さん(平福中町)は「訓練を通じて、災害時に避難支援が必要な要援護者などを地域で助け合う意識を高めていければ」と期待を込めていました。



防災ヘリの説明を聴く参加者



豪雨体験をする参加者

真に災害に強い まちづくりを誓う

平成21年台風第9号災害から3年を迎えた8月9日、町はさよう文化情報センターで「平成21年台風第9号災害佐用町追悼式」を挙行しました。

ご遺族42人をお迎えし、参列者約350人が、3年前の災害で亡くなられた20人のご冥福をお祈りし、災害に強く、安全で安心して暮らせる「真に災害に強いまちづくり」を進めることを誓いました。

まず、犠牲者名簿が慰霊塔の前で開帳され、その後、芳名帳が町自治会連合会会長の坂口榮さん(鎌倉)の手で捧げられ

ました。

そして、参列者全員で黙とうの後、庵途典章町長と西岡正町議会議長が追悼の辞を述べ、石堂則本兵庫県議員、藤原由成兵庫県西播磨県民局長から、それぞれあいさつをいただきました。

その後、参列者全員で白菊の献花が行われ、亡くなられた人のご冥福をお祈りし、最後に、町子ども連絡協議会の児童たちと保護者29人、子どもボランティア武庫川の皆さん9人が、それぞれで作成した折鶴、計1万4、256羽を捧げました。



折鶴をささげる町子ども会の皆さん



追悼の辞を述べる庵途町長



1 子育てほっとステーションくざきの前でスイカ割り。地域の子どもたちも喫茶を楽しみにしています 2 3 7月28日の高瀬船まつりでは、夜店を出したり、チチコ釣りをしたりして、地域住民と交流を図っていました



「おいしいトマトができたんよ。食べてみて」。和やかな会話に集まった皆さんの笑顔が広がります

佐用町学生支援ネットワーク「チャコネット」が久崎商店街でふれあい喫茶を継続して開催

はぐくんだ絆 これからも

3年前の豪雨災害で被害を受けた久崎地域を中心にボランティア活動が続ける佐用町学生支援ネットワーク「チャコネット」。月に一度、久崎商店街でふれあい喫茶を開催しています。地域住民に憩いの場を提供し、活気ににぎわいを取り戻そうと始まった取り組みは、学生たちと地域住民との間に生まれた絆をはぐくみ続けています。

息の長い支援のために

同商店街は、平成21年8月の豪雨災害で多くの店舗が床上浸水する被害を受けました。

発生直後、関西学院大学の学生たちが久崎地域で家屋の泥かきなどの支援活動を展開。活動を重ねるうちに息の長い支援が必要と感じた学生たちが中心となり、佐用町学生支援ネットワーク「チャコネット」を発足しました。

喫茶で活気ににぎわい

災害以降、同商店街では2店舗が廃業。そのうち1店舗は同商店街唯一の喫茶店でした。

ふれあい喫茶は、商店街に活気ににぎわいを取り戻し、地域の憩いの場を復活させようと、22年5月、チャコネットが久崎商店街運営の子育て支援ステーションくざきでオープン。以降、毎月一度行



チャコネット代表の岡田さん

在4回生の岡田さんは災害直後から活動に参加。復旧・復興に向けて懸命に励む久崎地域を見つめてきました。

「言葉を交わすことで、心の傷を少しでも和らげてもらえたらと最初は聞き役に。でも、今ではお互いに何でも話せるようになりました。復興する町とともに住民の皆さんの笑顔も増え、私たちの活動が少しは役に立っているのかなと実感しています」と岡田さんは笑顔で話します。

しかし、来年3月で岡田さんを含め学生6人のうち2人が卒業。活動の継続のためにメンバーの確保が必要です。喫茶の場所を提供する黒田君代さん(久崎)は「喫茶は地域住民にとってなくてはならないもの。できる限り続けてほしい」と願っていました。

われています。

学生のアイデアが満載

7月29日、日曜日の午後。子育て支援ステーションくざきに次々と地域住民が集まってきました。

「暑いですね。元気ではってしまいわ。あんたも気がつけよ」。子どもから高齢者まで集まった人たちが学生たちと楽しそうに会話を交わします。ドリンク代は100円。飲み物のほか、茶菓子上に学生たちが手作りしたケーキが出ることも。また、スイカ割りをしたり、うちわを作ったりと、喫茶には学生ならではのアイデアがつまっています。

できる限り続けてほしい

「喫茶を始めたころは、私たちがここに来る意味があるのか常に疑問でした」と振り返るのは、チャコネット代表の岡田萌さん(西宮市)。現



そうめん流しを楽しむ留学生

田舎暮らしで和にふれる

国際交流ホームステイ「いなかのえんげ」

8月16日から4日間、大阪大学の留学生が町内の家庭で過ごす恒例の「いなかのえんげ」が行われました。

今回で15回目。ロシアやベトナムなどからの留学生10人が、町内の家庭で田舎暮らしを体験しました。19日には幕山地区センターでゆかたパーティーが行われ、そうめん流しやゲームなどを通じて、日本の文化にふれながら交流を深めました。

初めて受け入れた古川由美さん（添谷）は「習字や草木染めなどの体験を通して、家族のように接することができた。充実した4日間でした」と笑顔を見せていました。



トラビスさん（左から3人目）と料理する参加者

古里のクッキーのお味は？

佐用町ALT（外国語指導助手）のトラビスさんとママプラザの親子が交流会

町内の小中学校で英語の指導助手を務めるトラビス・ロビンソンさんとママプラザとの交流会が、8月9日、南光文化センターで行われました。

ジャマイカ出身のトラビスさん。参加した親子20人は、トラビスさんが子どものころに食べていたクッキーづくりに挑戦。調理法を教わりながら、黒蜜や香辛料が入った“古里”のクッキーを完成させました。クッキーの味は子どもたちにも大好評。一緒に味わい、楽しいひとときを過ごしました。

（写真上）
あさぎり賞の伝達の様子



（写真下）
作文を披露した3人。左から出水瑞希さん、西口祐香さん、廣瀬瑞生さん



みんなの力で犯罪を防ごう

犯罪のない明るいまちづくり市民のつどい

7月25日、さよう文化情報センターで第62回目の「犯罪のない明るいまちづくり市民のつどい」が開催されました。

式典では、安全・安心の地域づくりに尽力した佐用警察署の田中明夫さんにあさぎり賞が贈られました。その後、三日月小学校の出水瑞希さん（湯小）、三日月中学校の西口祐香さん（湯小）、佐用高校の廣瀬瑞生さん（島脇）が作文を発表しました。

また、兵庫県警察音楽隊のプラスバンドコンサートが行われたほか、暴力団の不当要求に関する講話などが行われ、集まった皆さんは真剣な表情で耳を傾けていました。

楽しんで交通ルールを学ぶ

三日月集落で三世代交流会

7月23日、三日月集落で地域の小学生や高齢者など約80人が参加し、三世代の交流会が行われました。

国道179号が集落を横切り、交通量が多い同集落。催しでは、自転車の乗車体験ができる最新鋭の機械を使った交通安全教室を実施。佐用署員が見守るなか、参加者たちは夜間や狭い道など様々な想定での運転を体験しました。また、グランドゴルフやビンゴゲームなどでも交流を深めました。

参加した門元暁惺くん（三日月下）は「思ったより難しかった。楽しみながら交通ルールを学びました」と笑顔で話していました。



自転車の乗車体験をする参加者

たわわに実った青い宝石

上月ブルーベリーの村でブルーベリー祭り

7月22日、ふれあいの里上月内にある上月ブルーベリーの村で町内産のブルーベリーをPRするイベントが行われました。

今回で2回目。地元農家を中心に結成した「上月ブルーベリーの村実行委員会」が昨年よりも70本多い約270本の木を育てました。訪れた皆さんは、青い宝石のようにたわわに実ったブルーベリーを摘み取り、おいしそうに次々に口へ運んでいました。

同実行委員会会長の野村眞義さん（柳田）は「町の特産品として定着できるように、今後もPRに努めたい」と話していました。



摘み取ったブルーベリーは子どもたちに大人気

つかんだアユに大きな歓声

手をつなぐ育成会「アユ祭り大会」

7月24日、けんこうの里三日月で、手をつなぐ育成会のアユ祭り大会が行われました。

今年で41回目。今回も佐用ライオンズクラブから200匹のアユが寄贈されました。参加者たちはアユが泳ぐプールに入り、大きな歓声をあげながらつかみ取りにし、塩焼きにしてほおばりました。また、腹話術やビンゴゲームなどが行われ、会場には参加者たちの笑顔が広がりました。

同会会長の木村政照さん（福澤）は「会員のいきいきとした表情を見ることができて良かった」と話していました。



アユを捕まえる参加者

この夏、全国へ挑んだ若者たち

この経験を生かしていきたい

陸上競技（競歩）：西川尚孝くん（海内）

佐用高校3年の西川尚孝くん（海内）が7月29日、新潟県で行われた第65回全国高等学校陸上競技対抗選手権の男子競歩5,000mの部に出場しました。

佐用中学校で陸上を始めた西川くん。当時は思うように記録が出せませんでしたが、同校に入学後、競歩に出会いその能力が開花。柔軟なひざと足首を使ったフォームで記録を伸ばし、今年6月に行われた近畿大会で4位に入賞。同校としては16年ぶりのインターハイ出場となりました。

同選手権では、残念ながら入賞を逃した西川くん。大会を終えた西川くんは「持てる力をすべて出し切れず悔しい気持ち。でも、この経験をこれからの陸上人生で生かしていきたい」と抱負を語りました。



今は駅伝の大会に向け練習を重ねています



「大歓声の中で緊張せず楽しめた」と阿部くん

自分が引っ張り再び甲子園に

硬式野球：阿部成人くん（西下野）

第94回全国高校野球選手権大会で、阿部成人くん（西下野）が鳥取県代表・鳥取城北高校の選手として出場しました。

幼いころから父・孝さんの指導を受け、野球に打ち込んだ阿部くん。三土中学校入学後に所属した硬式野球チーム「佐用スターズ」で活躍し、高校は父と同じ鳥取県の強豪校に進学。身長168cmの阿部くんは小技が持ち味。それに加え、『何事もあきらめない』という持ち前の努力で、2年生で唯一レギュラーを獲得。1回戦と2回戦ともに、ヒットを放つなど活躍しましたが、チームは2回戦で惜しくも敗退しました。

阿部くんは「今年は先輩に甲子園に連れてきてもらった。次は自分がチームを引っ張ってまた帰ってくる」と意気込みを語りました。

地域の資源を生かす

江川
地域づくり
協議会

陰陽師の里をPR

七夕に願いを込め 15人が練り歩く



衣装を身にまとい笹を持って歩く参加者

平安時代に活躍した陰陽師・安倍晴明と、そのライバルの芦屋道満を祭った塚が残る江川地域で、8月4日、陰陽師などの衣装を身にまとい練り歩く「七夕行列」が行われました。江川地域づくり協議会では、同地域を「陰陽師の里」として売りだそうと、これまでコスプレイベントなどを開催しています。今回は、旧暦の七夕に晴明塚から道満塚まで歩くイベントを実施。陰陽師や巫女などに変装した15人の参加者が道満塚を目指し晴明塚を出発。途中、棚田の景色を眺めながら道満塚に到着し、その後、参加者や地域住民などが願いを書いた護摩木短冊と笹が焼かれました。巫女の衣装で参加した高橋美絵さん（姫路市）は「みんなが元気で過ごせるようにと願いを込めました」と笑顔で話していました。



独特の踊りを舞った踊り子たち

平松
集落

4年に一度の武者踊り

集落の伝統 次の世代へ

4年に一度行われる「平松武者踊り」が、8月14日、平松集落の吾勝神社で行われました。地域住民など約500人が参加。夜8時前、歌舞伎の隈取りのような化粧をほどこし、手作りの道具を身にまとった踊り子たちが、同神社を目指して同集落集会所を出発しました。今年の演題は『奥州安達原三代目』。同神社では、6月下旬から練習を重ねた21人の踊り子たちが天満節の音頭に合わせてやぐらの周りを激しく踊ると、集まった人々から大きな歓声とカメラのフラッシュが飛び交いました。初めて踊った上津中2年の若林正浩くん（平松）は「実際に踊ると見た目以上にきつい。でも、この伝統をしっかりとつないでいきたい」と笑顔を見せていました。

今年はツキノワグマが頻りに集落周辺に出没しており、特に秋から初冬にかけては、冬眠前のツキノワグマが食料を求めて人家や納屋、果樹などにやって来る可能性が高くなります。クマを集落や農地に寄せ付けないよう、また、不意にクマに遭遇しないよう、特に次の点に注意しましょう。

クマを近づけないためのポイント

1 POINT ごみを屋外に置かない



ごみ(特に生ごみ入りのもの)はクマを誘引します。屋外に置かないようにしましょう。また、田畑への残飯まき、収穫しない野菜の放置もしないようにしましょう。

2 POINT 食料はクマに気づかれないところへ

匂いに敏感なクマが、屋外や納屋などにある食料に気づけば食べにくる恐れがあります。クマが気づかないよう、果物、穀物、ペットフードなどは厳重に保管してください。納屋・倉庫などの戸締りもしっかりとしましょう。

3 POINT 果実は早めに収穫を

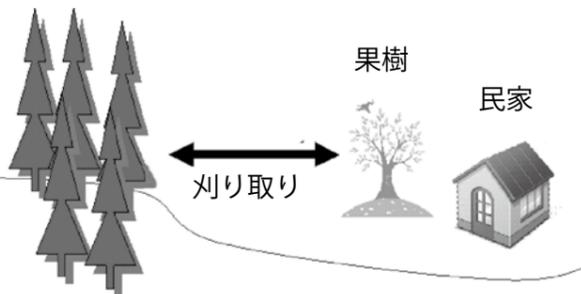


クマの好物である柿や栗は早めにもぎ取って処分しましょう。販売用などで必要な場合は、木の根元にトタンを巻くか、電気柵で周囲を囲むようにしましょう。

4 POINT できるだけヤブや草むらを刈り取る

住居や通路周辺にクマがひそみやすいヤブや草むらがある場合は、できる限り刈り取って見通しをよくし、出会い頭の接触を防止しましょう。

※シカやイノシシの出役抑制にも効果があります。



■森林や、その付近に行くときは音の出るものを携行しましょう

森林や、その付近に出かけるとき、あるいは夜間に外出するときは、鈴やラジオなど音の出るものを身に付けましょう。特に雨の日や川沿いの場所では、人間の臭いや物音がクマに伝わりにくいため、大きな音を出して人間の存在を知らせましょう。

■人里でも夕方から朝までの外出は特に注意

クマは夕方から早朝の間に人里に出没する可能性が高くなります。この時間帯は、絶対に柿の木や栗の木の近くなどクマがいそうな所に近づかないでください。

■クマを目撃した場合は、農林振興課へご連絡をお願いします。

☎農林振興課農林土木整備室 ☎82-0667

今年は特に
気をつけよう

ツキノワグマの人身事故



第6回 さようマラソン&ウォーク

ボランティアスタッフ

募集

さようマラソン&ウォークは佐用町の一大スポーツイベント。お手伝いいただくボランティアスタッフを募集します。

- 開催日 12月16日⑩ 雨天決行
午前9時10分開会(スタッフ午前7時集合)
- 場所 三日月中学校グラウンドほか
- 内容 駐車場係、受付係、給水所係、交通整理係、放送係 ほか
- 応募資格 佐用町、近隣市町在住・在職、在学の中中学生以上のかたで、スタッフ説明会に

参加できるかた(町スポーツ推進委員会、体育協会などであらかじめスタッフ依頼しているかたを除く)。

■申込方法 所定の申込書で申込みください。申込書は本庁、支所、出張所にあります。

■応募締切 10月19日⑩まで

☎生涯学習課 ☎82-3336

こうのとりの会 出会いイベント

ホルモン焼きうどんと朝捕り鮮魚DE おいし〜い出会い!

ホルモン焼きうどんと新鮮な魚を食べながら、楽しいおしゃべりを通じて新しい出会いを見つけませんか。ぜひ参加ください。

日時 9月29日⑤ 町内の飲食店

■参加資格と人数

20歳以上39歳以下の独身男女 各10人
※ただし、男性は定職についているかたで町内にお住まいかお勤めのかた

■参加費 男性4,000円 女性2,000円

■申込締切 9月20日⑩

☎企画防災課まちづくり企画室 ☎82-0664

高年クラブ囲碁・将棋大会

8月1日、町高年クラブ主催の囲碁・将棋大会が、町生きがいづくりセンターで開催されました。大会には囲碁の部に26人、将棋の部に7人が参加し熱戦を繰りひろげました。上位の成績は次のとおりです。

■囲碁の部

優勝 尾崎伊佐男(豊楽会)
準優勝 森本和昭(多賀高年クラブ)
第3位 蔭山 壽(共楽高年クラブ)

■将棋の部

優勝 富島良一(共楽高年クラブ)
準優勝 上野雄造(多賀高年クラブ)
第3位 重内啓作(下徳久高年クラブ)



飯島隆 撮影

profile ●プロフィール

2004年9月から大阪フィルハーモニー交響楽団首席客演コンサートマスター、2006年4月から2012年3月まで首席コンサートマスターを務める。

長原幸太 ヴァイオリンコンサート

◎さようホールスタッフ自主事業

日時 **10月7日** 開演 午後2時
開場 午後1時30分

場所 **スピカホール**

■出演 長原幸太 (ヴァイオリン)
藤井快哉 (ピアノ) 上森祥平 (チェロ)

■入場料 2,500円 (前売 2,000円)
※高校生以下 1,200円 (前売 1,000円)

■チケット スピカホール、さよう文化情報センター、上月体育館、町民プール、役場住民課・各支所、さようホールスタッフ

問 スピカホール (月曜日休館)
☎ 82-0595

9月1日から 町暴力団排除条例を施行

町では、3月町議会で可決した「佐用町暴力団排除条例」を9月1日に施行しました。3つの基本理念を基に、町と町民の皆さん、事業者、警察などが連携協力しながら暴力団排除を推進します。

■3つの基本理念「三ない運動」

- ・暴力団を恐れない
- ・暴力団に金を出さない
- ・暴力団を利用しない

■具体的な町の取り組み (一部)

- ・公共工事などからの暴力団の排除など
暴力団員および暴力団と密接な関係にある者が公共工事などの契約の相手、およびすべての下請負人などとなることを許しません。
- ・暴力団活動に公共施設を利用させない
暴力団の利益になる場合は、公共施設の利用を認めません。

【条例全般に関すること】

問 企画防災課防災対策室 ☎ 82-0664

【公共工事の契約に関すること】

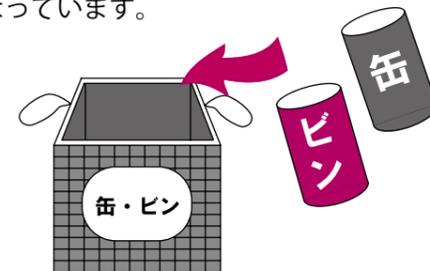
問 総務課財政室 ☎ 82-2549

シリーズ Vol. 9
ごみのはなし

缶とビンは分別して資源へ

これまで「もえないごみ」として出していた「缶」と「ビン」。新しい分別収集では、分別してそれぞれ資源回収ステーションへ出すことになっています。

しかし、資源として再利用できる缶やビンが、これまでどおり「もえないごみ」として出されているケースが見受けられます。缶やビンは、必ず中身をしっかりと洗ってから、資源回収ステーションに出してください。また、汚れやサビが残る缶やビンは、「埋め立てごみ」として出してください。



缶に関する注意点

■スプレー缶

「スチール缶」などのリサイクル表示があっても「もえないごみ」で出してください。また、事故防止のため、必ずカンに穴を開けてガスを抜いてから出してください。

■一斗缶

「もえないごみ」か「粗大ごみ」で出してください。

■粉ミルクの缶

キャップやスプーンなど金属部分以外を取り除いてから、「缶」として出してください。

■その他の缶

菓子箱など1辺が約20cm以上の大きな缶は、「スチール缶」の表示があっても「もえないごみ」で出してください。

◎地域の廃品回収にもご協力ください

新聞、雑誌、ダンボール、布製品、アルミ缶などの資源は、子ども会やPTAなどが行う地域の廃品回収に出しても構いませんので、出しやすい方に出してください。

問 住民課環境衛生対策室 ☎ 82-0660

問 佐用クリーンセンター ☎ 82-0293

国民年金保険料を納め忘れのかたへ 保険料「後納制度」が始まります

これまでは、国民年金保険料を納め忘れたまま2年を超えると保険料を納めることができませんでしたが、10月から3年間に限り、過去10年以内の納め忘れた保険料を納めることができる「後納制度」が始まります。

過去10年以内の保険料を納めていただくことで、将来の年金額を増やしたり、年金の受給権につなげたりすることができます。

なお、後納制度は事前申し込みが必要ですが、審査の結果、後納制度による納付をご利用いただけない場合があります。くわしくは国民年金保険料専用ダイヤルにお尋ねください。

また、年金記録の確認については、ねんきんネット (<http://www.nenkin.go.jp>)、または次へお問い合わせください。

問 国民年金保険料専用ダイヤル ☎ 0570-011-050

問 姫路年金事務所 ☎ 079-224-6385

がんばったみんなに スポーツひろば

町ソフトバレーボール大会

■開催日 7月15日

■場所 上月体育館

※Fリーグはフレンドリーリーグ

男子 (混合の部)

■決勝リーグ 優勝来夢来人
第2位インパルス ■Fリーグ
優勝ラッキー 第2位L SVC

女子の部

■決勝リーグ 優勝グリーンピース☆B 第2位グリーンピース☆A ■Fリーグ 優勝グリーンピース☆C 第2位三日月ママさん

第4回西播磨地域消防広域化協議会開催 消防署の配置は現行どおり

7月25日、第4回西播磨地域消防広域化協議会が開催され、次のとおり決定しました。

- ・5消防署、2分署、4出張所の配置は現行どおりとする
- ・出勤区域は最寄りの署所からの出勤を基本として、現場到着時間の短縮を目指す
- ・高機能指令システム (デジタル化含む) は平成28年4月の運用開始を目指す

■第6回協議会は佐用町で開催

第6回協議会は、9月26日(土)午後2時から町コミュニティ防災センターで開催します。

問 西播磨地域消防広域化協議会事務局

☎ 0791-64-3122

問 総務課総務人事室 ☎ 82-2549

平成21年台風第9号災害を風化させない 映像記録DVDを発刊

平成21年8月の台風第9号災害を風化させずに後世に語りつぐため、NPO法人まちかどと共同制作した映像記録DVD「それぞれの復興—佐用町大水害の記録—」を発刊しました。



本DVDには、発生直後の被災者の心情と町の変貌の様子、そして復興とともに変化していった被災者の思いが収録されています。お求めのかたは、役場広報室、各支所・出張所窓口まで。郵送での購入も可能です。

■価格 1枚 1,500円 (税込)

問 総務課広報室 ☎ 82-2549

新着図書案内

2012.7.16～2012.8.15 受け入れ分の一部



『宇宙へ「出張」してきます』 『お待ちになって、元帥閣下 (エクスキューズ・ミー マッカーサー)』 『147ヘルツの警鐘』

●大人向けの本

- 機械より人間らしくなれるか? - AIとの対話が、人間でいることの意味を教えてくれる
ブライアン・クリスチャン/著 草思社 101歳
カメラが撮らえた幕末三〇〇藩藩主とお姫様
新人物往来社/編 新人物往来社
- 日本の7大商社 - 世界に類をみない最強のビジネスモデル
久保 巖/著 平凡社
- ひょうごの民話 「ひょうごの民話」再編復刻編集委員会/編 神戸新聞総合出版センター
- 伝え上手な患者になる! - 「医者と何を話してよいかわからない」あなたへ
平松 類/著 自由国民社
- 宇宙へ「出張」してきます - 古川聡のISS勤務167日
古川 聡/著 毎日新聞社
- 食材2つで!おいしい餃子
重信初江/著 家の光協会

- 気になる犬のむだ吠えを直す
愛犬の友編集部/編 誠文堂新光社
- JR利用術 富田康裕/編著 自由国民社
- お待ちになって、元帥閣下 (エクスキューズ・ミー マッカーサー) - 自伝笹本恒子の97年
笹本恒子/著 毎日新聞社
- 体が硬い人のためのストレッチ
荒川裕志/著 PHP研究所
- 空飛ぶ広報室 有川 浩/著 幻冬舎
- ケルベロスの肖像 海堂 尊/著 宝島社
- ▲147ヘルツの警鐘 - 法医昆虫学捜査官
川瀬七緒/著 講談社
- 確認 今野 敏/著 双葉社
- ★江戸の茶碗 中島 要/著 祥伝社
- よろづ情ノ字葉種控 花村万月/著 光文社
- ▲白ゆき姫殺人事件 湊かなえ/著 集英社
- ★南十字星の誓い 森村誠一/著 角川書店
- サラダ好きのライオン (村上ラヂオ 3)
村上春樹/文 マガジンハウス
- 少年は残酷な弓を射る 上・下 ライオネル・シュライヴァー/著 イースト・プレス

●子ども向けの本

- 本を味方につける本 - 自分が変わる読書術
永江 朗/著 河出書房新社
- おうさまのおひっこし 牡丹靖佳/作 福音館書店
- ▲は図書館と上月図書室に、★は図書館と南光図書室に、■は図書館と三日月図書室にあります。

すべての市民の暮らしを応援します

としょかん だより

佐用町立図書館

佐用町佐用 2585 TEL 82-0874(おはなし) FAX 82-0313
図書館 HP <http://www.toshokan.town.sayo.lg.jp>
E-mail toshokan@town.sayo.lg.jp

病気を防ぐために

「健康なからだづくり・未病コーナー」を開設

昨今の健康ブームを受け、運動や食事など様々な角度から健康についての本を集めた「健康なからだづくり・未病コーナー」を新たに設けました。

このコーナーには、健康を「運動」「食事」「いやし」といった3つのカテゴリーに分け、病気を防ぐために必要な本をそろえています。ぜひ一部に設置しています。



健康なからだづくり・未病コーナー

図書館からのお願い

最近、図書館の利用カードを忘れてくるかたが増えています。図書館に来るときは、必ずカードをお持ちください。なお、当館のカードには有効期限はありませんが、住所や電話番号など変更があった場合や、既にカードをなくされているかたは、必ずカウンターへお申し出ください。

■おはなし会
「小さい人(5歳以上)」
日時 毎週日曜日

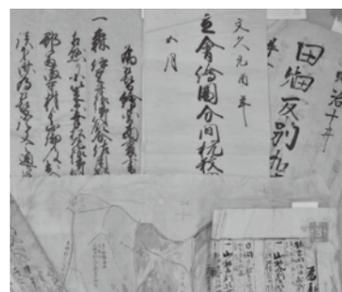
図書館カレンダー

9月 September 長月							10月 October 神無月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1		1	2	3	4	5	6
2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13
9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20
16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27
23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31			
30													

※色文字の日は休館日です。開館時間は午前10時～午後6時

- 午後2時～午後2時30分
9月のおはなし
「二ひきのよくばり子グマ」
- 日時 毎週日曜日
- 9月は「絵本の会」です
- 午後2時30分～午後3時
- 場所 図書館おはなしコーナー
- 対象 幼児・小学生
- 申し込み 不要
- としよかんボランティア「あそびせ隊」のおはなし会
日時 毎週土曜日
午後2時～午後2時30分

佐用町の誇り



江戸時代から保存された古文書

地域資料とその保全

どこにでもあるけれど、ここにしかない。り伝えられたものが安易に廃棄されたり、災害によって消滅したりして、大量の「地域の記憶」を失う危機にあります。地域資料は、これから相当意識して保存しないと残せない時代になりました。

「地域資料」とは、ある地域の歴史や文化を示す古文書や民具などの歴史資料です。

これらは、特別なものではなく、大抵どの地域にもあります。けれども、その中味はそれぞれ固有の情報を持ち、地域の歴史や文化などを知るために欠かせないものです。そのため、地域の特性を活かしたまちづくりを考へるとき、地域資料から学ぶことが多いのです。

しかし、社会生活の変化などによって、何百年と守られてきた地域資料が、同研究会では、地域資料などから地域の魅力、価値を再発見することに心をもち、次へお問い合せください。

このため、教育委員会では、佐用郡地域史研究会とともに「佐用町文化遺産再発見活性化事業」に取り組んでいます。この取り組みでは、古文書など地域資料の保全を軸に、学習会や講座を開催して調査や啓発活動を行っています。

問 教育委員会 ☎82・2424

地域包括支援センターだより

認知症は高齢者だけの病気ではありません

高齢に特有の病気と思われがちの「認知症」。実は、そうではありません。

認知症は若年者でも発症します。19歳から64歳までに発症した認知症を「若年性認知症」といいます。その症状は高齢者が発症する認知症とほぼ同じです。もの忘れが激しくなったり、脳梗塞などの原因によって急に怒りっぽくなったりすることがあります。

高齢者と若年者との違いは、症状の進行が早いことです。認知症と診断されたころには、仕事をやめざるを得ない状況におちいることもあります。また、若いため、発症後の人生も長く、介護や経済的な負担などが大きいことも特徴です。

しかしながら、若年性認知症は医療や介護面、職場でも十分な支援体制が整っていないのが現状です。

地域包括支援センターでは、若年性認知症に対する相談支援を行っています。また、町社会福祉協議会と連携し、認知症サポーター養成講座を通して認知症に対する理解を深めてもらう活動も行っています。

現在、薬でその進行を遅らせたり、精神症状を和らげたりすることもできません。先述のとおり、認知症は症状の進行が非常に早いので、もの忘れなど気になることがあれば早めにご相談ください。

問 地域包括支援センター (健康福祉課健康増進室) ☎87・8020

行事カレンダー

■デイ・ケア（精神障がい者社会復帰訓練事業）

9月12日㊦
27日㊦
午後1時30分～午後3時30分
場所：町保健センター

■こころのケア相談日（要予約）

9月13日㊦ 午後1時～午後3時
場所：町保健センター
担当医：赤穂仁泉病院 深井院長

問 健康福祉課 健康増進室 ☎87-8020

■こころのケア相談日（要予約）

■若者の心と体の相談（要予約）

10月5日㊦ 午後1時～午後2時
場所：龍野健康福祉事務所

問 龍野健康福祉事務所
☎0791（63）5142

赤ちゃん和妈妈の行事

★3歳児健診

（平成21年7月～平成21年8月生まれ）
9月19日㊦ 午後1時00分～

★ヨチヨチ健康相談（平成23年9月生まれ）

9月21日㊦ 午後1時30分～

★4カ月児健診（平成24年5月生まれ）

9月24日㊦ 午後1時30分～

★すくすく離乳食教室

10月4日㊦ 午前10時～（平成24年3月生まれ）

★0歳児クラス（2カ月～1歳未満）

10月1日㊦
2カ月～6カ月児 午前10時30分～正午
7カ月～1歳未満児 午前10時～午前11時30分

★すてきなママになるための教室（妊婦）

10月1日㊦ 午前10時～

いずれも場所はさよう子育て支援センター

母子健康手帳の交付

母子健康手帳が必要な場合は、事前に次へ連絡してからお越しください。

問 上月保健福祉センター ☎87-8020
問 さよう子育て支援センター ☎82-0341

宿泊施設・飲食店のための
受動喫煙防止セミナー開催

宿泊施設、飲食店などの施設管理者を対象に、「受動喫煙防止セミナー」を開催します。今年3月に制定された「受動喫煙の防止等に関する条例」の説明や個別相談、講演などが行われます。ぜひ、ご参加ください。

- 日時 9月10日㊦ 午後2時～4時30分
- 場所 姫路市市民会館 第2会議室
- 対象 宿泊施設（ホテル、旅館など）、飲食店、喫茶店などの施設管理者
- 内容
 - ・条例の説明、個別相談
 - ・立教大学野崎俊一さんの講演「受動喫煙と自社の経営戦略—宿泊・飲食を中心として—」
- 定員 150人【入場無料】
- 申込締切 9月7日㊦（個別相談は事前予約）
- 問 龍野健康福祉事務所
☎0791-63-5150

9月9日は「救急の日」

西播磨地域では、急病やケガの際に、安全・安心な救急医療受けられるよう医師会や医療機関などの協力で体制が整えられています。救急医療は限りある社会資源です。大切に利用しましょう。

- 救急医療を守るためにできること
 - ・身近なところで受診できる「かかりつけ医」を持ちましょう。
 - ・日ごろから健康管理に努め、具合の悪い場合は、なるべく医療体制が整っている平日の診療時間内に受診しましょう。
 - ・症状が重篤である場合は、119番へ連絡しましょう。子どもの急病やケガで、救急を受診するかどうか迷った場合はご利用ください。
- 問 県小児救急医療電話相談
☎#8000 または 078-731-8899
相談時間 午後6時～9時

こんにちは保健師です

「受動喫煙」をご存じですか

あなたの煙で困っている人がいます

タバコを吸わない人でも、周囲に吸う人がいれば、嫌でも煙を吸うことになります。これを「受動喫煙」と言います。

受動喫煙で吸う煙を副流煙ふくりゅうえんといい、喫煙者が吸う主流煙よりも有害物質が多く含まれています。ニコチンは2.8倍、タールは3.4倍、アンモニアは46倍と、副流煙の方が有害です。

日常的に副流煙を吸い続けると、吸わない人でも病気になる可能性があります。『自分のタバコの煙は他人には吸わせない』。これは、喫煙者が最低限守るべきマナーです。

では、目の前で吸わなければ大丈夫でしょうか。喫煙してから30分程度は、呼気中にニコチンなどの有害物質が含まれています。また、換気扇の下でも有害物質は完全には排除できません。

また、眠っている間に元気な赤ちゃんが亡くなる「SIDS（乳幼児突然死症候群）」年間100人以上が亡くなるこの病気は、タバコの煙が大きく関わっているといわれています。大切な命を守るためには、喫煙者をはじめ周囲の協力が欠かせません。家族の妊娠が分かたら禁煙しましょう。禁煙も立派な育児の一つです。

日本の子どもに多い病気は、ぜんそく、気管支炎、上気道感染、咽頭炎などです。これらは、副流煙の悪影響を受けやすい病気です。元気に毎日を過ごせるように、周囲に副流煙がない環境を作ってあげましょう。

親がタバコを吸う姿を見て育った子どもは、自然にタバコを受け入れてしまい、将来、喫煙者になりやすい傾向があります。子どもの将来を考え、喫煙習慣を伝えない努力が必要です。

栄養士の食育メモ

旬の食材を使って旬を味わいましょう

夏の暑さも過ぎるころ、畑でつややかな紫色を放つ秋なす。黄金色の稲穂と相まって実りの秋を実感させる風景です。

なすは私たちの生活になじみの深い野菜です。最近では、栽培方法や保存技術が進み、多くの食材が年中食べられるようになりましたが、旬しゅんを味わうことで季節を感じる風情は失いたくないものです。

食育には過去から現在、未来へつなぐ二つの大きな役割があります。それは「生命をつなぐ運び手」と「文化をつなぐ伝え手」としての役割です。後者の役割である次世代への食文化や伝統料理の伝承は、自覚と意識を持って努力しないと消滅してしまいます。

佐用町では核家族化が進行し、また食材の

購入はスーパーなどがその大半を占めています。そのような中、畑で採れた旬のものを加工、保存したり、町の伝統料理を作ったりするご家庭が年々減ってきています。

食育を進めるボランティアグループ「町いずみ会」では今年度、「佐用の心・おふくろの味」をテーマに夏休み子どもクッキングなどの取り組みを通じて、佐用町の食文化を若い世代に伝える活動に取り組んでいます。



いずみ会の食育事業の様子

くらしの情報 Information

お知らせ

今月の納税

今月の納税相談日 9月25日(火)

■受付時間

午前8時30分～午後5時

■受付場所 役場本庁税務課
災害・盗難・疾病・失業
や廃業などで納期限までに
町税が納められない場合は、
納税相談に応じます。

■問 税務課 収納管理室
☎82-0662

国民健康保険税（普通徴収）
介護保険料（普通徴収）
後期高齢者医療保険料
（普通徴収） 第3期分

納期限 **10月1日(月)**

■問 住民課年金・保険室
☎82-0660

募集

無事故・無違反運動

「チャレンジ100」参加募集

■運動期間

10月1日(日)～平成25年
1月8日(日)までの100日間

■申込方法

1チーム10人でチームを
作り参加申込書を佐用警察署、
または佐用郡自家用自動車協

会に提出してください。

■申込締切 9月14日(金)

■表彰

無事故・無違反を達成され
たチームには、警察本部長な
どから表彰状が贈られます。

■問 佐用警察署

☎82-0110

募集

パソコンで遊ぼう

パソコン教室 受講生募集

ワード、エクセル搭載のパ
ソコンをご持参ください。

【ワードでつくろう講座】

■日時 10月10日(水)、12
日(金)、17日(水)

■申込期限 9月26日(火)

【エクセルでつくろう講座】

■日時 10月19日(金)、24
日(水)、26日(金)

■申込期限 10月5日(金)

★コース共通

■開催時間

午後7時30分から2時間

■開催場所 上月文化会館

■受講料 1,500円

■募集人数 各20人

■問 上月支所地域振興室

☎86-1210

お知らせ

住みよい環境づくりのために 下水道に接続しましょう

下水道の接続がまだお済で
ないご家庭では、早めに接続
するようにしましょう。

なお、公共下水道の接続工
事は、必ず町の指定を受けた
指定工事店に依頼してくださ
い。また、水洗化を推進する
ための水洗化資金制度や利子
補給制度もあります。くわし

くはお問い合わせください。

■問 上下水道課

☎86-1212

募集

ひょうご防災リーダー講座 受講生募集

地域の自主防災組織などの
一員として防災活動に積極的
に取り組む地域の防災リー
ダーを育成する講座を開催し
ます。

■期間 9月から平成25年
3月まで

■場所 県広域防災センター
(三木市) ほか

■対象 自主防災組織のリー
ダーやその担い手を目指すか
たで県内在住か在勤のかた

■申込期間

9月19日(火)まで

■参加費 無料(教材等に一
部実費負担あり)

※実施日や内容、申込方法な
どくわしくは次へお問い合わせ
ください。

■問 県広域防災センター

☎0794-87-2920

お知らせ

文化協会佐用支部

第20回 観月の夕べ



お気軽にお越し
ください。
参加無料です。

■日時 9月29日(土)

午後5時～ お茶席

午後5時15分～

短歌・俳句・邦楽演奏ほか

■場所 生きがいづくりセン
ター(シルバー人材センター)

■問 生涯学習課

☎82-3336

お知らせ

通報の受理に支障をきたします 110番通報は適正に

1日の110番通報約1,600
件のうち46%が、いたずら
電話や遺失、拾得など緊急で
ないものであり、本来の110
番通報の受理に支障をきたし
ています。

事件、事故など緊急の通報
以外は、次へご連絡ください。

■問 佐用警察署

☎82-0110

お知らせ

西播磨西部(千種川流域圏)
地域総合治水推進協議会

第1回 ワーキング開催

総合治水条例に基づく同推
進計画策定に向け、広く地域
住民の皆さんから意見を聴く
ため、ワーキングを開催しま
す。どなたでも参加できます。

■日時 9月14日(金)

午後2時～4時

■場所 西播磨県民局
大会議室(A・B)

■問 県光都土木事務所

☎0791-58-2229

お知らせ

森林を新たに取得したかたは 土地所有者の届出を

4月以降、森林の土地所有
者となったかたは町長へ事後
届出が義務づけられました。

売買や相続などによって森
林を新たに取得したかたは、
所有者となった日から90日
以内に届けてください。

■問 農林振興課農林土木整備室

☎82-0667

iii 人のうごき

8月15日現在()内は前月比

人口 19,404人(△32)
男 9,301人(△21)
女 10,103人(△11)
世帯数 7,138戸(△1)

8月中の移動

出生 5人 死亡 21人
転入 22人 転出 38人

お誕生おめでとう

7月16日から8月15日届出分 敬称略

名前 保護者 自治会

個人情報保護のため非公開

佐用チャンネル 放送更新日

9月7日(金) 21日(金)

ちょうみんカレンダー

9月上旬～10月上旬

月日	曜日	内容	場所	時間
9/8	土	郡陸上競技大会	佐用高校グラウンド	8:45～
13	木	高年大学南光教室	南光文化センター	10:30～
15・16	土・日	町敬老会	さよう文化情報センター	午前・午後
18	火	高年大学三日月教室	三日月老人福祉センター	10:00～
		高年大学上月教室	上月文化会館	10:00～
			佐用保健センター	
19	水	行政相談	上月支所	13:00～15:00
			南光文化センター	
			三日月文化センター	9:00～11:00
20	木	高年大学佐用教室	さよう文化情報センター	10:00～
10/7	日	長原幸太ヴァイオリン コンサート	17歳をご覧ください	

◆豪雨災害から3年。8月10日に『創造的復興』をテーマにしたフォーラムが開かれました(関連記事7頁)。◆『創造的復興』とは、災害前の生活をとり戻し、さらに新しい付加価値をつけて、より魅力ある佐用町を創っていくことです。◆フォーラムでは、パネリストや参加者から、復興への取り組みを通じた様々な意見が出されました。その言葉の一つからは、「何とか町を復興させたい」という熱い『思い』と、町への『愛着心』を感じ取ることができました。◆古里を愛する気持ち。これが『創造的復興』を指して歩み続ける原動力になります。

編集後記



2



1



3

120万本のひまわりに11万人が魅了 佐用町 南光ひまわり祭り

7月から8月上旬にかけて、町内各地で約120万本のひまわりが咲き誇り、町内外から約11万人が訪れました。また7月14日から29日まで、「佐用町南光ひまわり祭り」が南光スポーツ公園周辺で開催され、多くの観光客でにぎわいました。



4



5

1ひまわり迷路で見かけた麦わら帽子がお似合いの2人
2ひまわり畑をバックに結婚式の前撮り写真を撮影中
3花に止まったミツバチを眺める女の子
4世界のひまわり畑でのワンショット
5ひまわり畑を水彩画で描くおじいちゃんとお孫さん。それぞれ違うタッチで素敵な絵が完成しました



1



2



3



4

1ひまわり畑の看板で笑顔のきょうだい
2JR姫新線の利用促進をPRするミニSL
3昆虫館の虫とふれあうコーナー。カブトムシやクワガタに、子どもたちは興味深々
4暑さで犬もぐったり。水路でちょっとひと休みだワン
5そうめんの試食会には、冷たい食べ物を求める長い行列ができました
6町観光キャラクター「おさよん」も大人気



5



6